

Profile



Wenzell & Bugge

ウェンゼル & ブッゲはデンマークの数々の音楽賞を受賞しているフィドル奏者クリスチャン・ブッゲと国際的に活躍する打楽器奏者のロニー・コット・ウェンゼルのデンマーク人デュオ。

2人はデンマークの音楽院在学中に出会う。

ウェンゼル&ブッゲとは異なるプロジェクトで一緒に学び、切磋琢磨していたが、程なくして、お互いに音楽的エネルギーやベクトルの共通点を感じ一緒に演奏することになる。

伝統的なデンマークの音楽とクラシックの世界観を互いに持ち込み、合わる試みを始める。以来デュオはすぐに人気を博し、年間約 50~60 のコンサートを世界中で行うこととなる。

2016 年ブラジルのリオ・オリンピックではデンマーク代表ミュージシャンとして、オリンピック出場選手と共にリオに渡り、選手村での演奏を繰り広げた。

呼ばれれば世界中どこへでも飛び回る生活を楽しんで活動している。

クリスチャン・ブッゲ(フィドル)

Kristian Bugge



デンマークの伝統音楽に特化した演奏を最も得意とするが、その実力はフィドルモンスターと言っても過言ではないほど、自由自在。フィドルが身体の一部かのような圧巻の演奏を繰り広げる。軽いタッチにも関わらず、楽器の芯から音が発せられる大音量、かつ超絶テクニックの数々は必見、必聴の価値あり。

これまでデンマークのフォークシーンで最も多くの受賞数を誇る逸材。

「デンマーク・デビューオブザイヤー」「デンマーク・フォークインストルメンタリスト」「デンマーク・王立フォークミュージシャン」などその他 10 以上の受賞歴がある。

現在、北欧と北米を中心に活動を展開しており、デンマークでは最も忙しい(ブッキングの取れない)ミュージシャンの 1 人として、その名を轟かせている。

ロニー・コット・ウェンゼル(マリンバ、ビブラフォン)

Ronni Kot Wenzell



国際的に活躍するクラシックパーカッション奏者。マリンバ、ビブラフォンを始めた同時期の 5 歳の頃からピアノも始め、13 歳からプロのピアニストとして活動を始める。王立デンマーク・バレエ学校で専属のピアニストとして 4 年間従事している間、マリンバ、ビブラフォン奏者としての仕事が忙しくなり、本格的にパーカッション奏者に転向。これまでいくつかの交響楽団でソリストも担当。EMI や SONY ミュージックから音源も発売されている。「途方もないミュージシャン」「底無しの才能とプレイアビリティ」「驚異的なテクニック」などと称賛される。また、これまでにジュリアード音楽院、NYU、ロンドンのロイヤルカレッジオブミュージック など名門音楽学校においてマスタークラスも開催。現在もブラジルの Conservatório Brasileiro で客員教授も務める。様々なミュージシャンのレコーディングにも参加しており、王立デンマークバレエや日本人の大茂絵理子さんのレコーディングにも参加。2017 年に公開されたディズニー映画「美女と野獣」の音楽コンサートでは指揮者も担当。